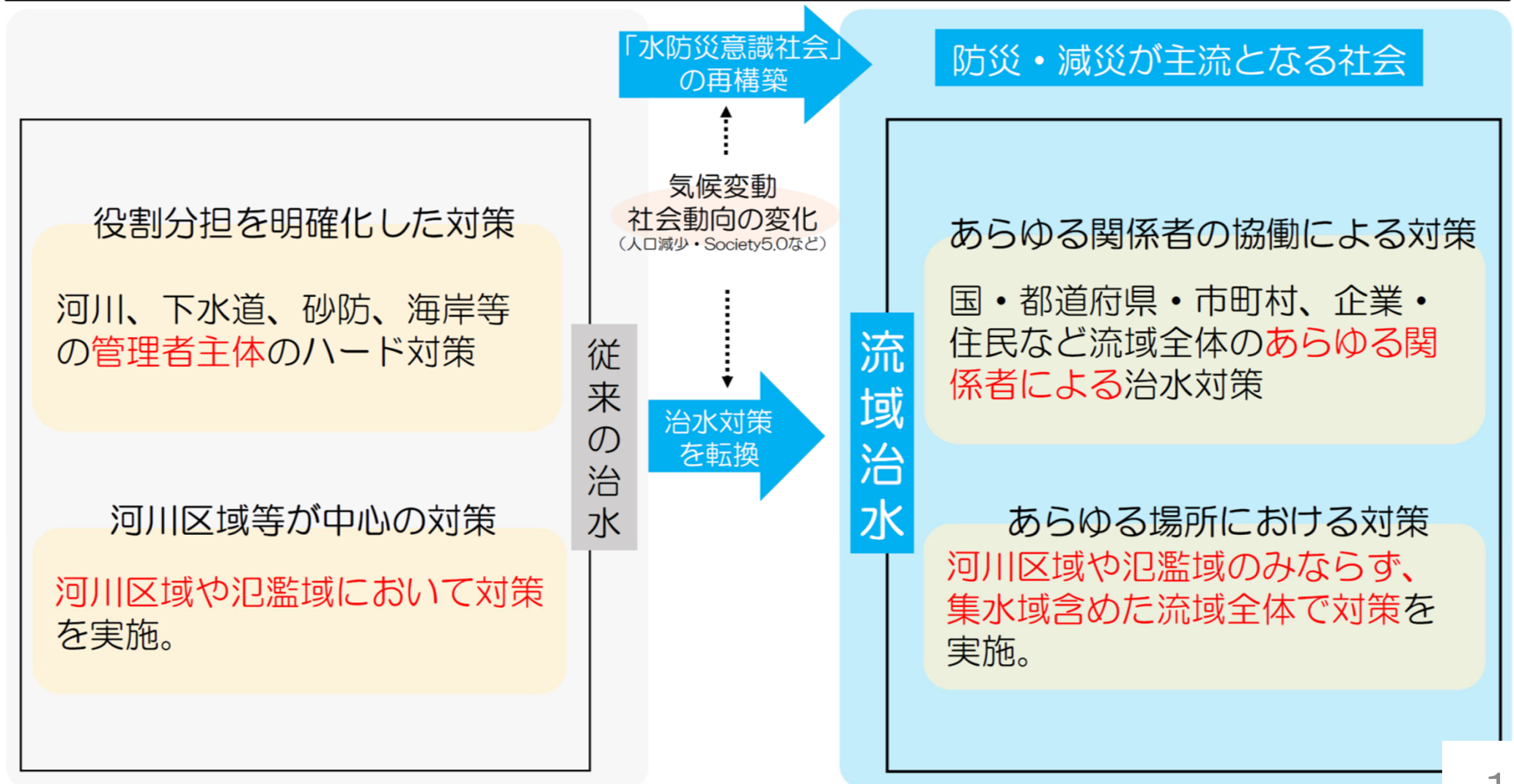


令和4年度
大分川・大野川学識者懇談会
〔流域治水〕

令和4年8月2日
国土交通省九州地方整備局
大分河川国道事務所

「流域治水」への転換

- 近年の水災害による甚大な被害を受け、施設能力を超過する洪水が発生するものへと意識を改革し、氾濫に備える、「水防災意識社会」の再構築を進めてきた。
- 今後、この取組をさらに一歩進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で対応する「流域治水」へ転換。



「流域治水」の施策イメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域
 [国・県・市・利水者]

治水ダムの建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

**持続可能な河道の流下能力の
 維持・向上**

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

**リスクの低いエリアへ誘導／
 住まい方の工夫** 氾濫域
 [国・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全

③ 被害の軽減、早期復旧・復興 のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
 多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化



大分川・大野川水系における「流域治水」の推進

「大分川・大野川水系流域治水協議会」「同 幹事会」を設置

1. 協議会（同幹事会）の設置

○大分川・大野川流域において、近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、流域全体のあらゆる関係者が協働して水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とした、「大分川・大野川水系流域治水協議会」を令和2年9月11日に設置・開催。

2. 協議会メンバー

- 流域自治体：大分市長、竹田市長、豊後大野市長、由布市長、臼杵市長、産山村長、高森町長、高千穂町長
- 大分県：生活環境部 防災対策企画課長、土木建築部 河川課長、砂防課長、公園・生活排水課長、建築住宅課参事監兼課長、都市・まちづくり推進課長、農林水産部 農村基盤整備課長、森林保全課長、森林整備室長、中部振興局 農林基盤部長、豊肥振興局 農林基盤部長、豊後大野水利耕地事務所長、大分土木事務所長、竹田土木事務所長、豊後大野土木事務所長
- 熊本県：土木部河川港湾局 河川課長、阿蘇地域振興局 土木部長
- 宮崎県：県土整備部 河川課長、西臼杵支庁長
- 農林水産省 九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所長
- 林野庁 九州森林管理局 大分森林管理署長
- 国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林整備センター 大分水源林整備事務所長
- 気象庁 大分地方气象台長
- 国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所長

3. 協議会の下部組織として「幹事会」を設置

4. 開催状況

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ○令和2年 9月11日 第1回 協議会・幹事会 | ○令和4年 5月13日 第6回 幹事会 |
| ○令和2年12月24日 第2回 幹事会 | ○令和4年 5月27日 第4回 協議会 |
| ○令和3年 2月12日 第3回 幹事会 | |
| ○令和3年 3月 1日 第2回 協議会 | |
| ○令和3年 5月14日 第4回 幹事会 | |
| ○令和4年 2月24日 第5回 幹事会 | |
| ○令和4年 3月 1日 第3回 協議会（書面開催） | |

第4回 大分川・大野川水系流域治水協議会

1. 概要

第4回協議会では、臼杵市、熊本県、産山村、高森町、宮崎県、高千穂町、大分地方気象台の新たな機関が参画し、大野川水系流域治水プロジェクトの変更及び2級水系における流域治水プロジェクトについて了承されるとともに、「大分川・大野川水系流域治水プロジェクト」の具体的な取組状況について確認しました。

2. 実施状況

- 日 時：令和4年5月27日（金）13:30~14:30
- 場 所：大分河川国道事務所 別館会議室（対面+WEB会議）
- 出席者：大分市長(代理)、竹田市長(代理)、豊後大野市長、由布市長、臼杵市長、大分県生活環境部防災局防災対策企画課長(代理)、土木建築部河川課長(代理)、砂防課長、公園・生活排水課長、建築住宅課参事監兼課長、都市・まちづくり推進課長(代理)、農林水産部農村基盤整備課長、森林保全課長(代理)、森林整備室長(代理)、中部振興局農林基盤部長、豊肥振興局農林基盤部長(代理)、豊後大野水利耕地事務所長(代理)、大分土木事務所長、竹田土木事務所長、豊後大野土木事務所長、産山村長(代理)、高森町長(代理)、熊本県土木部河川港湾局河川課長(代理)、阿蘇地域振興局土木部長、高千穂町長、宮崎県県土整備部河川課長、西臼杵支庁長(代理)、農林水産省九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所長(代理)、林野庁九州森林管理局大分森林管理署長(代理)、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター大分水資源整備事務所長、気象庁大分地方気象台長、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長

3. 議事内容

- ①規約の改正(案)について
- ②大野川水系流域治水プロジェクトの変更について
- ③各機関の取組内容について
 - ・大分川・大野川水系流域治水プロジェクト
 - ・大分川・大野川水系地区(2級水系版)流域治水プロジェクト
- ④その他
 - ・今後のスケジュール(案)について

4. 各機関の主な取組等

●大分市 土木建築部長（大分市長代理）

- ・雨水貯留タンクの設置補助を実施（R3年度:30件、R4年度:上限50件）
- ・大分市片島地区に雨水排水ポンプ場を建設中で今年度供用開始を予定。
- ・大分市下郡地区及び花園地区の2箇所に災害対策ポンプ施設を整備予定。
- ・本協議会を通じて、国や県、流域の皆様とともに、ソフト、ハード一体となった防災対策をさらに加速化させ、水害リスクの低減に向けて取り組んでいく。

●竹田市 副市長（竹田市長代理）

- ・これまで河川監視カメラを7箇所に設置し、リアルタイム映像を市民の皆様へ24時間発信しており、今後も河川監視カメラの増設を予定している。

●豊後大野市長

- ・従来から設置していた柴北川緊急排水ポンプでは平成29年の台風18号の浸水被害を防げなかったため、令和2年度に排水能力を2倍に増強させる対策を実施。
- ・豊後大野市立地適正化計画を令和4年3月に策定し、居住誘導区域を設定。
- ・健全な森林整備を通じて皆さんと連携した防災対策に取り組んでいく。

●由布市長

- ・令和3年から立地適正化計画、居住誘導区域の検討を進めており、令和5年に公表予定。
- ・昨日、由布市総合雨水排水対策検討委員会を立ち上げ、今後の治水対策について計画的に推進していく。
- ・流域治水プロジェクトの皆さんとも連携を図りながら取り組みを進めていく。

●臼杵市長

- ・内水被害の軽減を図るため、臼杵市内2級河川末広川水系の雨水幹線の排水路整備や調整池整備に取り組んでいる。
- ・今回より本協議会に加入させて頂くことにより、より一層の広域に渡る防災体制の強化が図られるように協力させて頂く。



大分河川国道事務所
所長 河崎拓実



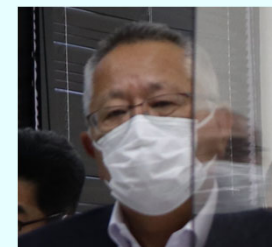
大分市（代理）
土木建築部長 吉田健二



竹田市（代理）
副市長 藤田和徳



豊後大野市
市長 川野文敏



由布市
市長 相馬尊重



臼杵市
市長 中野五郎

大分川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

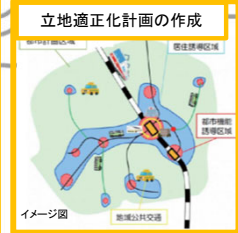
○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大分川水系においても、由布院盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取組を実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和28年6月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の検討
- ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
- ・立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)
- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討

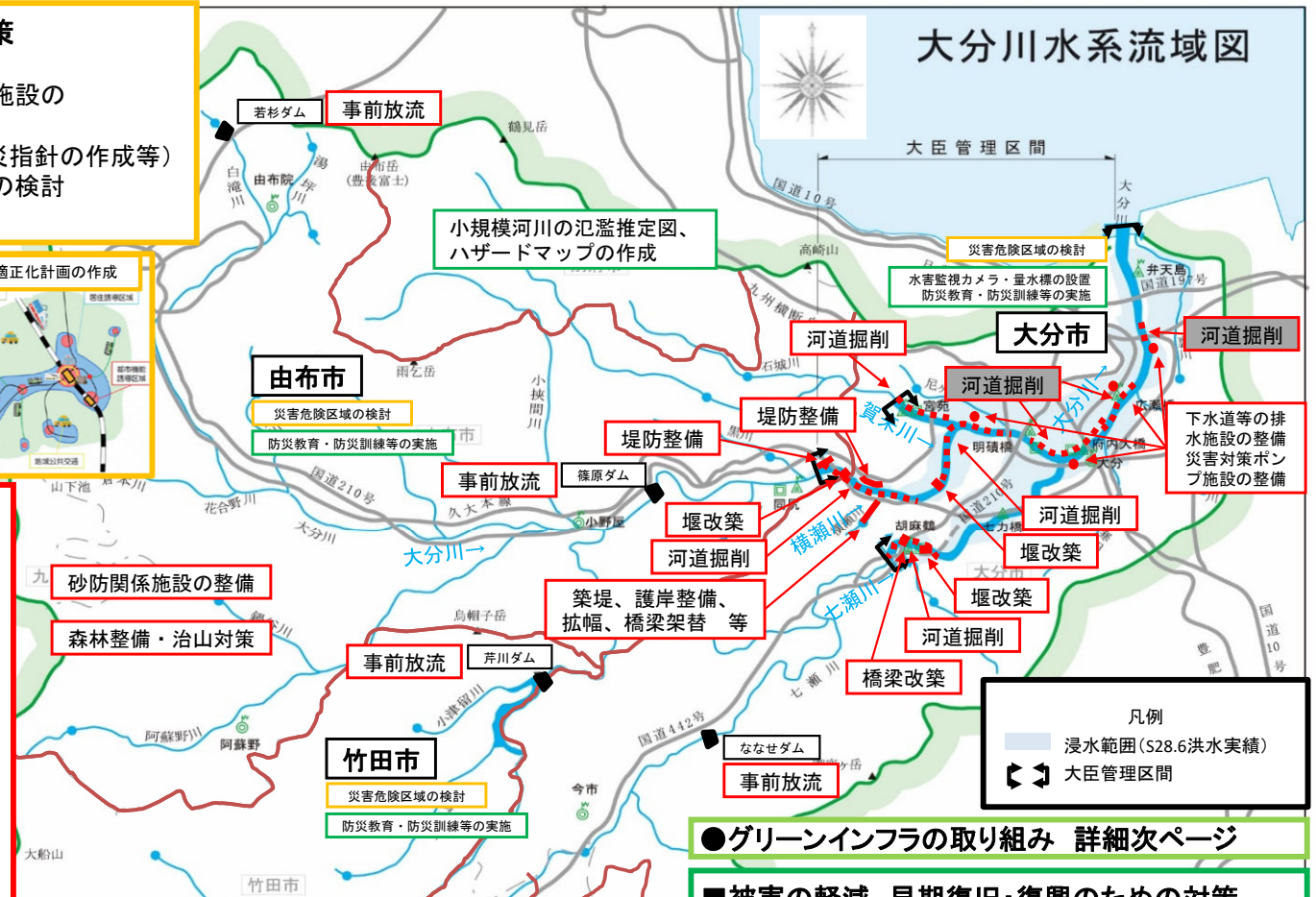
※今後、関係機関と連携し対策検討



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替 等
- ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
- ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討
- ・ため池の補強・有効活用
- ・下水道等の排水施設の整備
- ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
- ・利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 (関係者: 国、大分県、由布市、九州電力(株)など)
- ・水田の貯留機能向上
- ・砂防関係施設の整備
- ・森林整備・治山対策

※今後、関係機関と連携し対策検討



●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害監視カメラ・量水標の設置
- ・防災情報伝達の多重化の検討
- ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
- ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

● 大分川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 大分市街地等での浸水被害を軽減するため、本川の河道掘削及び排水施設の整備を実施し、また、支川横瀬川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 本川中流部の浸水被害を軽減するため、本川中流部の河道掘削・堰改築を実施し、また、支川賀来川の河道掘削を実施するとともに、継続して支川横瀬川の整備、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中長期】 本川中上流部及び支川七瀬川の浸水被害を軽減するため、本川中上流部の河道掘削・堤防整備を実施し、支川七瀬川の河道掘削・堤防整備や橋梁架替、堰改築を実施するとともに、継続して流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約111億円)
■砂防対策 (約50億円)
■下水道対策 (約220億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築等	大分県、国土交通省	本川下中上流部掘削	本川中流部・支川賀来川掘削	本川中上流部・支川七瀬川掘削
			本川中上流部堤防整備	本川中流部堰改築	本川上流部・支川七瀬川堤防整備
			横瀬川築堤護岸整備、橋梁架替		支川七瀬川橋梁架替、堰改築
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、由布市	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討		
		大分県	水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		
			災害対策ポンプ施設の整備		
			管さよ整備		
	土砂災害対策	大分県	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		
			砂防関係施設の整備		
流水の貯留機能の拡大	大分市、大分県	森林整備・治山対策			
		ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発			
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、由布市	災害危険区域の検討		
		大分市、竹田市、由布市、(大分県)	立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	施設の機能確保	大分市	浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保		
			水害監視カメラ・量水標の設置		
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、由布市、大分県、国土交通省、気象台	防災情報伝達の多重化の検討		
			小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		
グリーンインフラの取組	重要種等の保全	国土交通省	重要種等の保全		
			ワンド等の保全		
			磯河原の再生		
			連続性の再生	連続性の再生	
	生息・生育・産卵環境の保全	国土交通省、大分県	生息・生育・産卵環境の保全		
	芹川かわまちづくり	大分県	芹川かわまちづくり		
	多様な生態系の保全	大分県	多様な生態系の保全		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

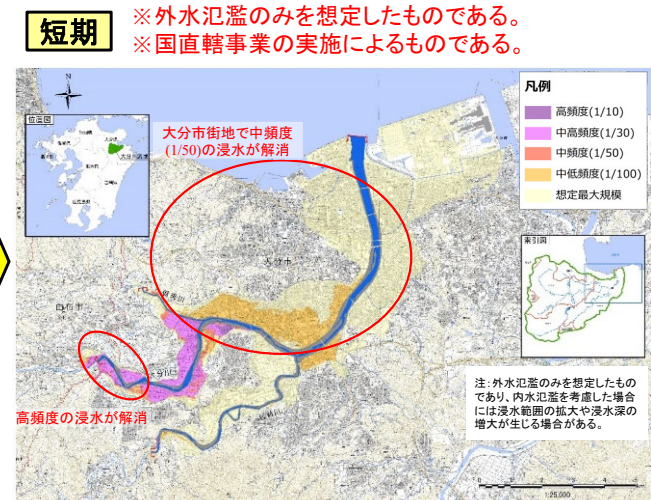
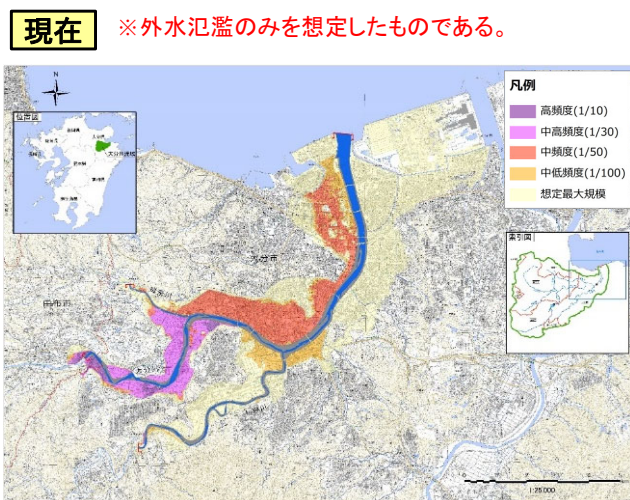
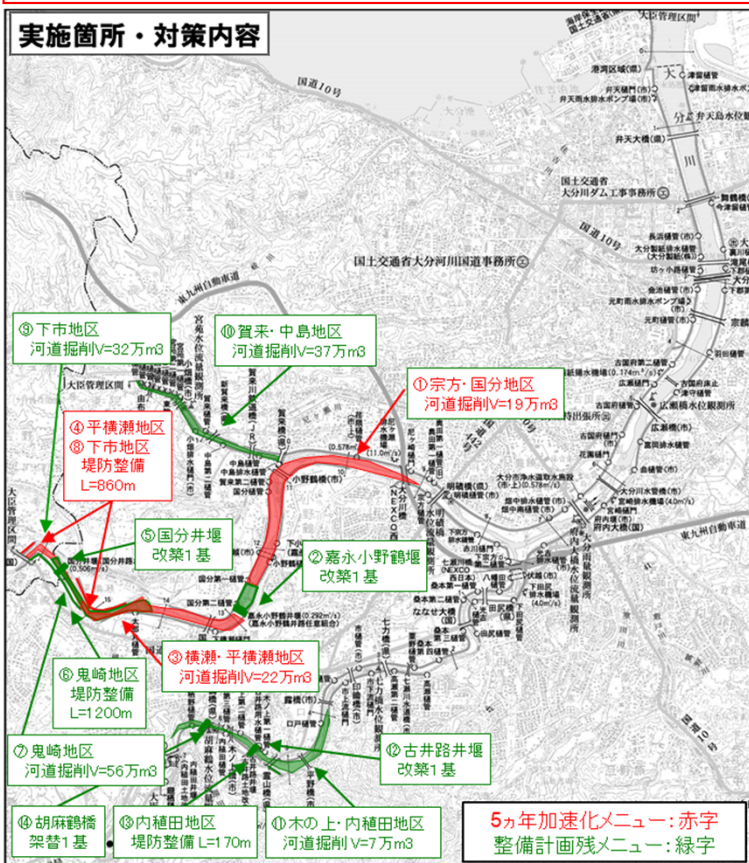
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

令和2年7月豪雨による浸水被害を受けた、大分川上流部の下市地区等において堤防整備を令和7年度までに完了し、平成5年9月13号台風規模を流下させる治水安全度を確保する。また、賀来川合流点下流については、整備計画目標流量(1/70確率規模)を確保する。

短期整備（5ヶ年加速化対策）効果：河川整備率 約48%→約74%



【短期整備完了時の進捗】

- ① 宗方・国分地区 河道掘削 0%→80%
- ③ 横瀬・平横瀬地区 河道掘削 0%→30%
- ④ 平横瀬地区 堤防整備 0%→100%
- ⑧ 下市地区 堤防整備 0%→100%

区分	対策区間				工程			
	河川名	エリア	地区名	対策内容	【5ヶ年加速化対策】 短期(R3～R7年度) 本川中下流 1/30→1/70 本川上流 1/5→1/15 支川 1/30→1/30	中長期(R8～R17年度) 本川中下流 1/70→1/70 本川上流 1/15→1/70 支川 1/30→1/70		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大分川	関連事業				R3	R12	
		賀来川合流～嘉永小野鶴	① 宗方・国分地区	河道掘削	80%	100%		
			② 嘉永小野鶴堰	堰改築	100%	100%		
		嘉永小野鶴堰～国分井堰	③ 横瀬・平横瀬地区	河道掘削	30%	100%		
			④ 平横瀬地区	堤防整備	100%	100%		
			⑤ 国分井堰	堰改築	100%	100%		
		国分井堰～天神橋	⑥ 鬼崎地区	堤防整備	100%	100%		
			⑦ 鬼崎地区	河道掘削	100%	100%		
			⑧ 下市地区	堤防整備	100%	100%		
			⑨ 下市地区	河道掘削	100%	100%		
	賀来川	-	⑩ 賀来・中島地区	河道掘削	100%	100%		
			七瀬川	-	⑪ 木の上・内種田地区	河道掘削	100%	100%
					⑫ 古井路井堰	堰改築	100%	100%
					⑬ 内種田地区	堤防整備	100%	100%
⑭ 胡麻鶴橋	橋梁架替	100%			100%			

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：74%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



2市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 1箇所
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 1施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 9河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体
（令和3年11月末時点）

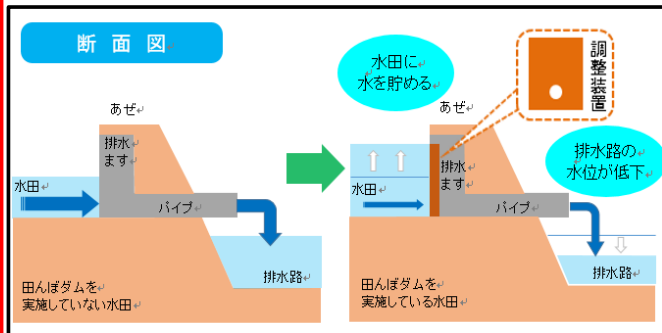
高齢者等避難の
実効性の確保



洪水 707施設
避難確保
計画 土砂 33施設
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 集計中
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



田んぼダムイメージ図



田んぼダム用調整装置

モデルほ場での実証事業の実施（大分県）

- ・県内3箇所のモデルほ場で、複数の調整装置を設置して、最適な調整装置及び水田の降雨時の貯留効果を検証
- ・大分大学と共同で検証を実施

被害対象を減少させるための対策



止水板の設置

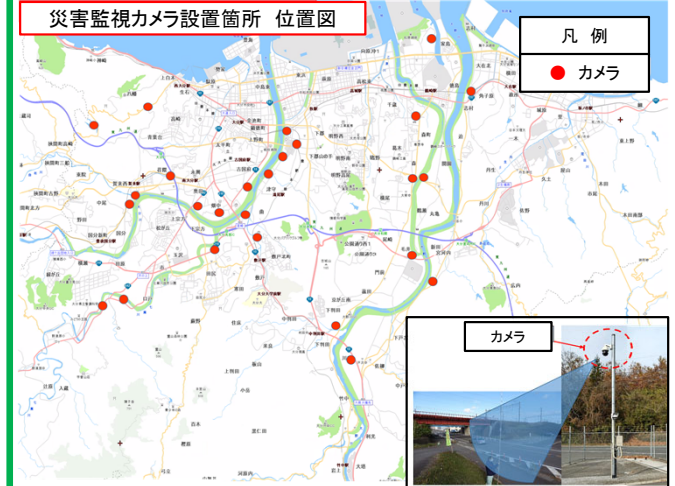


防水シャッターの設置

- ・氾濫による被害を防ぐため、浄水場の浸水対策を実施。（大分市）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

災害監視カメラ設置箇所 位置図



水害監視カメラの設置（大分市）

台風などの大雨時においては、職員などによる浸水状況の把握やパトロールが困難となることから、防災対応に大きな影響を及ぼす恐れがある。市民の安全・安心を確保し、事前防災を進めるため、特に浸水被害が発生する26箇所に水害監視カメラの設置を行い、状況を適宜把握しながら防災対応を行うとともに、リアルタイムな映像を市民に配信することで、自主避難の判断等、的確な避難行動に結びつける。

- 水害監視カメラシステムの主な内容
 - ・カメラの設置箇所数 26箇所
 - ・カメラ映像はライブ映像により常時公開
 - ・夜間でも映像が鮮明に確認できるカメラを使用
- 公開日 令和3年7月5日
- 公開方法
 - ・水害監視カメラシステムホームページ
 - ・YouTube「大分市水害監視カメラ」
 - ・ケーブルテレビ（※災害時のみ放送）

大野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大野川水系においても、竹田盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、平成5年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成29年9月（台風第18号）同規模洪水においても堤防からの越水を回避し、家屋浸水や臨海工業地域の経済活動に対する影響など、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替 等
 - ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
 - ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
 - ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、土地改良区など）
 - ・水田の貯留機能向上
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・森林整備・治山対策
 - ・洪水調節施設等の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



■ 被害対象を減少させるための対策

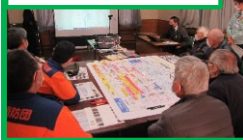
- ・災害危険区域の検討
 - ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
 - ・立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)
 - ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



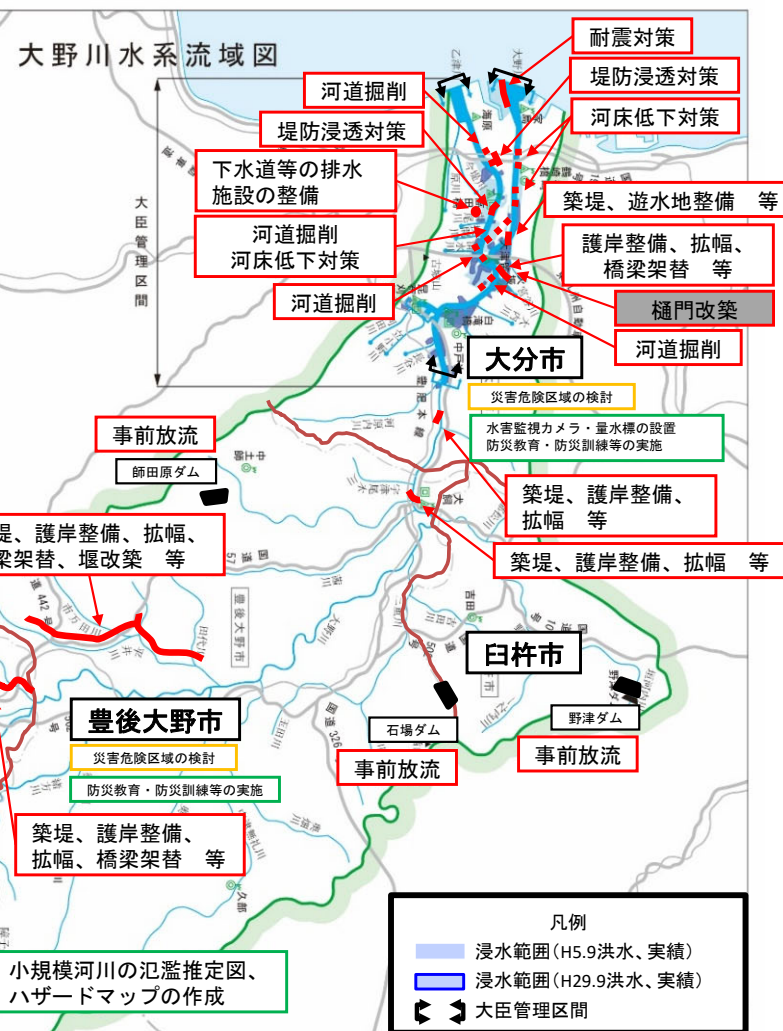
■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害監視カメラ・量水標の設置
 - ・防災情報伝達の多重化の検討
 - ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
 - ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

自主防災組織
(タイムライン作成状況)



防災訓練の様子 (Disaster drill scene)



● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

●大野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】大分市の堤防の安全性確保のため河道掘削・河床低下対策、浸水被害を軽減するため支川大谷川・宮谷川の堤防整備を実施し、また、竹田市街地の浸水被害を軽減するためダム建設・濁淵川の堤防整備、豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備等を実施し、さらに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中期】大分市の堤防の安全性確保のため河道掘削、河床低下・耐震対策を実施し、また、継続して豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中長期】継続して大分市の河床低下・浸透・耐震対策を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約338億円)
 ■砂防対策 (約65億円)
 ■下水道対策 (約165億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築等	大分県、国土交通省	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部浸透・河床低下対策	
			大谷川、濁淵川、平井川堤防整備	平井川堤防整備		
			玉来ダム建設			
			宮谷川、本川下中流部堤防整備		本川中流部堤防整備	
	地震対策	国土交通省		本川下中流部耐震整備		
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、豊後大野市	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討			
			大分県	水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
			国土交通省	洪水調節施設等の検討		
	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備			
			管きよ整備			
下水道事業における雨水流出抑制施設の検討						
土砂災害対策	大分県、熊本県、宮崎県、大分森林管理署、森林整備センター	砂防閘施設の整備				
		森林整備・治山対策				
流水の貯留機能の拡大	大分市、大分県、国土交通省	ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発				
		利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築				
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、豊後大野市	災害危険区域の検討			
	施設の機能確保	大分市、竹田市、豊後大野市、(大分県)	立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市、大分県、国土交通省、気象台	水害監視カメラ・量水標の設置			
			防災情報伝達の多重化の検討			
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、豊後大野市、臼杵市、高千穂町、大分県、熊本県、宮崎県、国土交通省、気象台	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成		
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		
グリーンインフラの取組	重要種等の保全	国土交通省	重要種等の保全			
	ワンド等の保全	国土交通省	ワンド等の保全			
	生息・生育・産卵環境の保全	国土交通省、大分県	生息・生育・産卵環境の保全			
	連続性の確保	大分県	連続性の再生			
	玉来川かわまりづくり	大分県	玉来川かわまりづくり			
	多様な生態系の保全	大分県	多様な生態系の保全			

気候変動を踏まえた
 更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

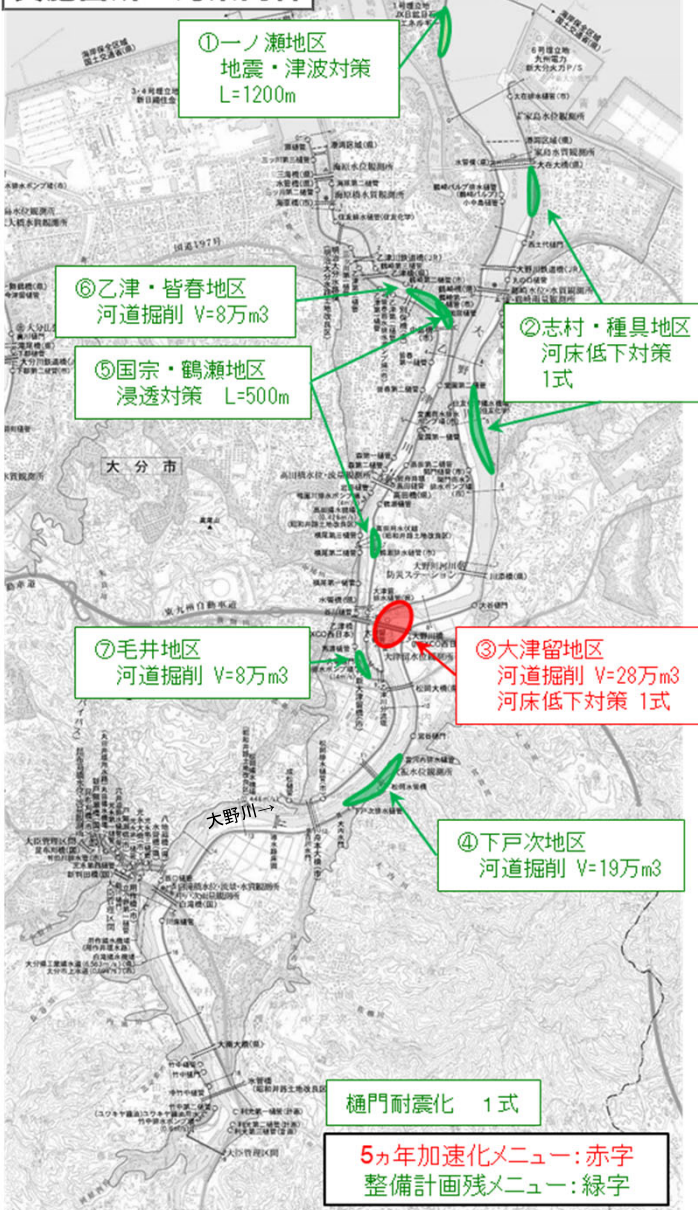
大野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

河岸浸食が進行しており昭和18年洪水による堤防決壊実績がある大津留地区において河床低下対策等を令和7年度までに完了し、大津留地区から下流の大野川については、整備計画目標流量（1/40確率規模）を確保する。

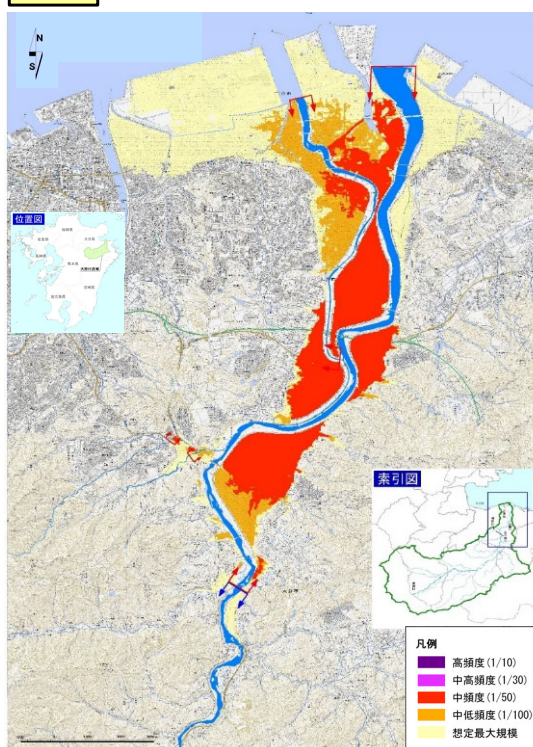
短期整備（5ヶ年加速化対策）効果：河川整備率 約79%→約85%

実施箇所・対策内容



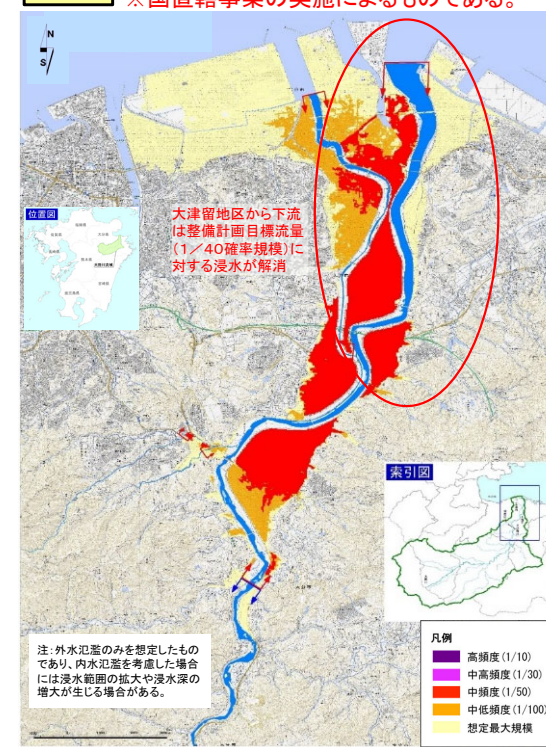
現在

※外水氾濫のみを想定したものである。



短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



【短期整備完了時の進捗】

③大津留地区
河道掘削、河床低下対策 0%→100%

区分	対象区間		対策内容	工程	
	河川名	地区名		【5ヶ年加速化対策】 短期 (R3~R7年度) 約1/30~1/40 大野川(大津留地区より下流)	中長期 (R8~R16年度) 約1/30~1/40 大野川(大津留地区より上流) 乙津川
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	関連事業			R3	
	大野川	①ノ瀬地区	地震・津波対策	43%	100%
		②志村・種具地区	河床低下対策		100%
		③大津留地区	河道掘削 河床低下対策		100%
		④下戸次地区	河道掘削		100%
	乙津川	⑤国宗・鶴瀬地区	浸透対策		100%
		⑥乙津・皆春地区	河道掘削		100%
⑦毛井地区		河道掘削		100%	
大野川 乙津川		樋門耐震化		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】


～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率：85%</p> <p>（概ね5か年後）</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>3市町村</p> <p>（令和3年度末時点）</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>0施設</p> <p>（令和2年度実施分）</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 4箇所 （令和3年度実施分）</p> <p>砂防関係施設の整備数 1施設 （令和3年度完成分）</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市町村</p> <p>（令和3年12月末時点）</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 19河川 （令和3年12月末時点）</p> <p>内水浸水想定区域 0団体 （令和3年11月末時点）</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 720施設 土砂 15施設 （令和3年9月末時点）</p> <p>個別避難計画 集計中 （令和4年1月1日時点）</p>
---	--	---	--	---	---	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

断面図

田んぼダムイメージ図

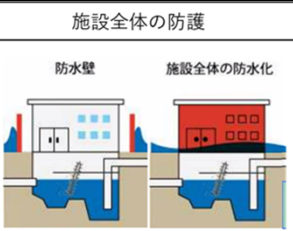
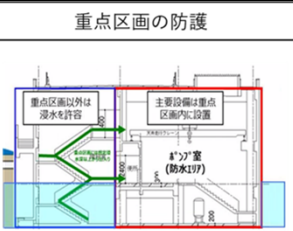

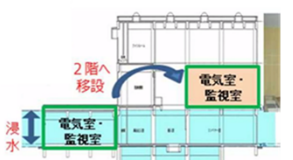


田んぼダム用調整装置

モデルほ場での実証事業の実施(大分県)

- ・県内3箇所のモデルほ場で、複数の調整装置を設置して、最適な調整装置及び水田の降雨時の貯留効果を検証
- ・大分大学と共同で検証を実施

被害対象を減少させるための対策

<p>施設全体の防護</p>  <p>防水壁 施設全体の防水化</p>	<p>重点区画の防護</p>  <p>重点区画以外は浸水を許容 主要設備は重点区画内に設置</p>
<p>個別施設の耐水化・耐水扉</p>  <p>防水扉の設置 経済機器の耐水化(耐水型モーター)</p>	<p>上層階への移設</p>  <p>2階へ移設 電気室・監視室</p>

対策のイメージ

下水道耐水化計画の策定(大分市)

	大分川水系	大野川水系
水資源再生センター	2箇所	3箇所
汚水中継ポンプ場	2箇所	4箇所
雨水排水ポンプ場	5箇所	4箇所
災害対策ポンプ	3箇所	1箇所

耐水化計画における検討対象施設

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

災害監視カメラ設置箇所 位置図



水害監視カメラの設置(大分市)

台風などの大雨時においては、職員などによる浸水状況の把握やパトロールが困難となることから、防災対応に大きな影響を及ぼす恐れがある。市民の安全・安心を確保し、事前防災を進めるため、特に浸水被害が発生する26箇所に水害監視カメラの設置を行い、状況を適宜把握しながら防災対応を行うとともに、リアルタイムな映像を市民に配信することで、自主避難の判断等、的確な避難行動に結びつける。

- 水害監視カメラシステムの主な内容
 - ・カメラの設置箇所数 26箇所
 - ・カメラ映像はライブ映像により常時公開
 - ・夜間でも映像が鮮明に確認できるカメラを使用
- 公開日 令和3年7月5日
- 公開方法
 - ・水害監視カメラシステムホームページ
 - ・YouTube「大分市水害監視カメラ」
 - ・ケーブルテレビ（※災害時のみ放送）